

Lions Clubs International District 334-C

the Lion



ザ・ライオンタイムズ DISTRICT 334-C



2021~2022 アクティビティスローガン

「愛と和の心の奉仕で、
夢と希望に満ちた未来を拓こう!」

- 第68回地区年次大会報告
- 地区ガバナー年次報告
- 年次表彰一覧
- 地区ガバナー大賞・
地区ガバナー特別賞紹介
- 事務局だより

68th YEARLY CONVENTION

第68回地区年次大会 響け、奉仕の魂

2022年4月24日（日）静岡市，グランシップにて第68回年次大会が開催されました。地区スローガン“愛と和の心の奉仕で、夢と希望に満ちた未来を拓こう！”を実践すべく，大会の企画段階で2つのテーマを掲げました。1つは「皆様方に最後まで楽しんでいただく事」2つ目は「開かれた大会にしよう」の2点です。この2つのテーマのもと2R4Zのホストクラブが一丸となって準備を重ねてきました。

おかげさまで当日は約1,000名もの参加を頂き，代議員会からフィナーレを飾る記念公演まで連帯と熱気に満ちた大会となりました。



式典会場 グランシップ



登録受付



登録受付



会場内風景



会場内風景



LCIFの募金箱を設置

代議員会

式典に先立って行われた代議員会。藤井嗣也議長（地区ガバナー）、松田康太郎キャビネット幹事の進行により上程された議案1, 2の投票結果を発表。続いて佐藤猛夫指名選挙委員長から議案3, 4, 5の次期地区ガバナー、第一、第二副地区ガバナーの選挙結果が発表され、いずれも代議員会にて承認されました。



代議員投票風景



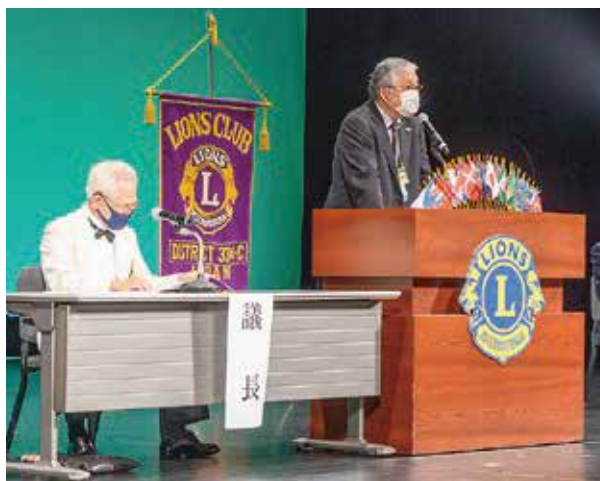
代議員投票風景



司会進行の松田キャビネット幹事



代議員会 会場風景



佐藤指名選挙委員長より選挙結果発表



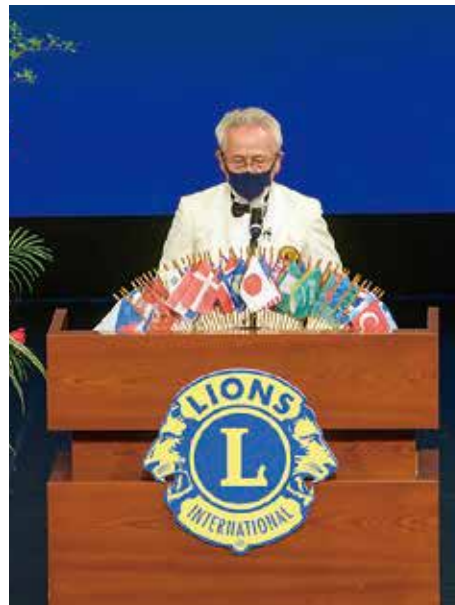
左より前田磨次期第一副地区ガバナー、太田厚利ガバナーエレクト、鷹嶋邦彦次期第二副地区ガバナー

大会式典

宇佐美敦年次大会副委員長とフリーアナウンサー小沼みのり氏の司会で大会式典の幕が上がる。純白のジャケットを身に纏った藤井嗣也地区ガバナーが力強く開会を宣言。山田博久大会委員長の歓迎の挨拶、藤井ガバナーの年次報告・代議員会決議結果報告に続き、来賓の川勝平太静岡県知事、田辺信宏静岡市長、酒井公夫静岡商工会議所会頭より心温まる祝辞をいただきました。



会場内風景



藤井地区ガバナーによる開会宣言



司会進行の宇佐美年次大会副委員長と小沼氏



山田年次大会委員長 歓迎の挨拶



会場内風景



川勝静岡県知事のご祝辞



来賓 川勝静岡県知事 田辺静岡市長 酒井静岡商工会議所会頭

年次表彰

地区ガバナー基本方針に沿って顕著な活動を展開したクラブに贈られる年次表彰。本年度のガバナー大賞は多岐にわたる活動で愛と和の心の奉仕を総合的に実施した磐田L Cが受賞。各受賞クラブの皆様、おめでとうございます。



ガバナー大賞 磐田ライオンズクラブ



ガバナー大賞 磐田ライオンズクラブ



ガバナー特別賞（4クラブ）



ガバナー特別賞（4クラブ）



表彰アシスタント、第66回静岡まつり御台所役の橋本さん（右）と上臈役の大北さん（左）



表彰風景



表彰風景



表彰風景



表彰風景

ガバナーエレクト登場。次年度年次大会は東海道五十三次ドまん中で。

袋井市に伝わる『袋井丸凧』。全国的にも珍しい丸型に作られたこの凧とともに籠に乗って太田厚利ガバナーエレクトが登場。色鮮やかな丸凧に見守られるように1R2Zの会員が整列。太田ガバナーエレクトの誠実で意気込み溢れる挨拶に続き、次期鈴木修二キャビネット幹事・一木教二キャビネット会計を紹介。最後に出崎芳孝次期年次大会委員長から第69回年次大会の案内があり式典の幕がおりました。



袋井市に伝わる「袋井丸凧」



太田ガバナーエレクト登場



太田ガバナーエレクトとホスト1R2Zの会員



花束の交換



花束の交換



次期鈴木キャビネット幹事・一木キャビネット会計の紹介



出崎第69回地区年次大会委員長の挨拶

記念公演 林英哲と英哲風雲の会 (はせみきた, 上田秀一郎, 田代誠, 辻祐)

オープニングを飾ったのは駿府祝い組による木遣り。息もピッタリで祝賀ムードを盛り上げる。そして世界的な和太鼓ソリスト「林英哲」が登場。芸術性の高い一音一音が響きわたり聴く者の魂を揺さぶる。アンサンブルメンバーとして活躍する「英哲風雲の会」が加わるともう異空間に誘われたかのよう——。俊英たちが繰り広げる圧倒的な迫力とライブパフォーマンス。伝統と革新が織りなすステージは会場に集まったすべての聴衆を魅了する素晴らしい演奏でした。

駿府祝組の木遣り

またこの公演は未来を担う子どもたちに一流の演奏に触れる機会を提供しようと、和太鼓の練習に励む県内の小中学生や保護者172名を招待して行われました。



演奏風景



第68回年次大会 記念チャリティーゴルフ大会

第68回記念チャリティーゴルフ大会が2022年3月16日、沼津ゴルフクラブで200名を超える多くの皆様にご参加いただき、コロナ対策を十分に行いながら盛大に開催されました。

静岡駿府ライオンズクラブの皆様には、早朝6時から準備、大会終了までお手伝いいただき大変ありがとうございました。

チャリティーは、「静岡県里親連合会」「静岡市里親会」「浜松市里親会」「日本盲導犬協会富士ハーネス」「静岡県聴覚障害者協会」に寄付させていただきました。

優勝者は、愛鷹コース L 深澤好幸 (富士宮中央LC)、伊豆コース L 神谷隆司 (袋井LC)、駿河コース L 鷹嶋邦彦 (小山LC) の3名です。おめでとうございます。



地区ガバナー年次報告

ライオンズクラブ国際協会334-C地区2021～2022年度地区ガバナーとして、年次報告を申し上げます。

私は昨年6月29日、世界中のライオンズが仮想空間の中で繋がる、ライオンズクラブ歴史上初の第103回バーチャル国際大会閉会式において、ダグラス・X・アレキサンダー新国際会長の「エレクトのリボンを外せ」の号令により、まさに異空間のなか正式に地区ガバナーに就任いたしました。

以来今日まで、国際会長の「We Serve」と「心からの奉仕を」のテーマのもと、地区アクティビティ・スローガンとして「愛と和の心の奉仕で、夢と希望に満ちた未来を拓こう！」を提唱し、コロナ禍の困難な状況下にあっても「愛と和の心の奉仕」を地域はもとより広く社会に訴え、日々活動に精進しようと呼びかけて参りました。

希望に満ちて新年度のスタートに立った矢先の7月3日、突如として熱海市の土石流大災害が発生し、まずこの対策に取り組むため日本ライオンズと協働のもとに支援金口座を開設。国内各地区・クラブより寄せられたご芳志と、熱海クラブ口座に寄せられた総額2千万円余のご芳志は、熱海クラブが窓口となって被災された皆様への支援の原資となりました。同時に、当地区の「緊急災害援助資金」より熱海災害指定として静岡県社会福祉協議会に5百万円を寄付しましたが、突然のことにも関わらず迅速に対応ができましたのも、当地区の歴代ガバナー皆様方のご尽力により、永年にわたって積み立てられた「緊急災害援助資金積立金」があったからに外なりません。先達ガバナーと先輩会員各位の叡智に心より敬意を表するものであります。

今年度には終息するやに思えたコロナ禍も変異ウィルスの発生等により今日に至り、クラブ例会や奉仕活動の実施に多大な影響を及ぼしました。しかしながらこの状況はZoom会議の開催等、SNS活用への新たな道が開かれた

ライオンズクラブ国際協会334-C地区
地区ガバナー

藤井 嗣也

ことも事実であり、これを今後、交流を旨とする私共ライオンズクラブがどのように活用していくか、新たな課題となりましょう。

さて、私は日本の、また、地域の次代を担う「すべての子供たちに学びの機会を！」と申し上げ、特に厳しい立場にある子供達への支援を訴えてまいりました。私の敬愛する二宮尊徳翁は、学問をするのは働くことと同じ価値があるといっています。子供にとって学びは人生の宝となります。この私の呼びかけに対して地区内会員各位には真摯にご対応下さり「子ども食堂」や「カタリバ」に取り組んで頂いたことは誠に感謝に堪えない思いであります。

そして、この困難な状況下で会員の維持・増強やLCIFへの寄付、青少年の健全育成、環境保全、献眼・献血の推進、小児がん対策等、多岐にわたる奉仕活動に黙々とご尽力を頂きました地区内全会員の皆様に重ねて深甚なる感謝を申し上げます、敬意を表する次第です。

いま世界は、私共が予想もしなかった戦乱の渦中にあります。コロナ禍に加えて、ロシアのウクライナ侵攻は地球上の全ての人々に大きく暗い影を落とし、特に日々流される戦禍のニュースでいたいけな子供たちの泣き叫ぶ姿を目の当たりにして、心が痛み無力感に苛まれるのは私だけではないはずです。どうか今を生きる大人の叡智が結集されて、一日も早く戦争の終結と避難民の救済がなされ「夢と希望に満ちた未来」に繋がるよう心から願わずにはられません。

最後に、地区内75クラブの皆様が厳しい状況下にも拘わらず、ライオンズクラブの原点である「We Serve」のもとに誇りを持って、愛と和の心の奉仕活動に前進下さったことに厚く御礼を申し上げ、地区名誉顧問各位をはじめとする地区役員の皆様、クラブ会長を始めとする会員皆様の温かいご支援ご協力に心から感謝申し上げて、今年度地区ガバナーの年次報告と致します。

2021～2022年度地区活動総括報告

2021年7月1日～2022年2月28日

1. アクティビティ集計表

労力奉仕	延時間数	金銭奉仕	総金額
770件	13,415.0時	989件	87,439,560円

2. 会員異動状況

2021年7月初 会員数	入会者数	退会者数	増減	2022年2月末 会員数	平均出席率
3,021人	118人	140人	-22人	2,999人	60.46%

3. YCE交換実績

※新型コロナウイルス禍により
全面中止

4. 献眼・献腎・献血実績

献眼者数	献腎者数	献眼登録者数	献血実績		
49人	0人	84人	200ml	400ml	成分
			259人	4,903人	694人

5. LCIF寄付実績

クラブ寄付金額	MJF寄付金額	LCIF寄付金総額
3,519,179円	32,528,507円	36,047,686円

6. その他特記すべき事項

- 2021年7月3日に発生した「熱海市伊豆山土石流災害」被災地への支援活動
地区緊急災害援助資金積立金より500万円を上記災害指定として静岡県社会福祉協議会に寄付。
- 上記災害に対し、日本ライオンズとの協働による支援金送金
国内各準地区・クラブに災害支援金拠出を呼びかけ、日本全国ライオンズより当地区指定口座に送金された支援金総額956万円を熱海ライオンズクラブに送金、熱海クラブへの送金分と合わせ2,064万円余を被災者支援の原資とした。
- 10月10日「地区76クラブ統一奉仕の日 フードドライブ」実施
総重量5.1トンを超える食料品等を「静岡県フードバンクふじのくに」に寄贈。
- 2022年3月16日 第68回地区年次大会チャリティゴルフ大会ドネーションを寄付
参加者220名により実施したチャリティゴルフ大会収益金99.5万円を「日本盲導犬協会・富士ハーネス」「静岡県聴覚障害者協会」「静岡県里親連合会」「静岡市里親会」「浜松市里親会」に寄贈。

ANNUAL AWARDS CLUBS

年次表彰

第68回地区年次大会年次表彰受賞クラブ一覧表 (クラブ名順不同)

●地区ガバナー大賞 (1クラブ)

磐田LC

●地区ガバナー特別賞 (4クラブ)

袋井LC / 藤枝LC / 富士吉原LC / 熱海LC

●会員維持賞 (9クラブ)

豊田LC / 小笠LC / 沼津中央LC / 富士宮中央LC / 富士宮芙蓉LC / 東伊豆LC / 西伊豆LC
修善寺LC / 三島泉LC

●会員増強賞 (23クラブ)

浜松LC / 浜松葵LC / 磐田LC / 袋井LC / 豊田LC / 湖西LC / 奥浜名湖LC / 掛川LC / 菊川LC
大東LC / 小笠LC / 清水LC / 静岡駿府LC / 静岡翼LC / 沼津LC / 沼津中央LC / 富士吉原LC
裾野LC / 清水町LC / 富士宮中央LC / 富士宮芙蓉LC / 伊東LC / 西伊豆LC

●グッドスタンディング賞 (5クラブ)

袋井LC / 湖西LC / 浜松LC / 沼津中央LC / 伊東LC

●MC賞 (5クラブ)

御殿場LC / 小山LC / 三島LC / 浜松ひかりLC / 磐田LC

●SNS推進賞 (3クラブ)

大東LC / 沼津LC / 天城湯ヶ島LC

●青少年健全育成賞 (8クラブ)

浜松葵LC / ミケ日LC / 静岡青葉LC / 榛南LC / 沼津千本LC / 富士中央LC / 三島LC / 大仁LC

●献眼・献腎・献血運動推進賞 (6クラブ)

浜松東LC / 静岡リパティLC / 静岡葵LC / 御殿場LC / 小山LC / 裾野LC

●環境保全推進賞 (5クラブ)

大須賀LC / 浜松LC / 静岡LC / 御殿場LC / 伊豆長岡LC

●LCIF・MJF賞 (6クラブ)

焼津LC / 静岡駿府LC / 藤枝LC / 静岡葵LC / 榛南LC / 富士宮中央LC

●LCIF・クラブ寄付賞 (5クラブ)

榛南LC / 富士岳南LC / 森町LC / 磐田LC / 富士吉原LC

●愛と和の奉仕賞 (27クラブ)

森町LC / 浜松リパティLC / 浜北LC / 菊川LC / 御前崎LC / 清水日本平LC / 静岡橋LC
静岡芙蓉LC / 清水羽衣LC / 蒲原LC / 島田LC / 静岡弥生LC / 静岡葵LC / 静岡リパティLC
静岡けやきLC / 沼津香陵LC / 沼津駿河LC / 富士タカオカLC / 富士マウントLC / 長泉LC
富士宮LC / 土肥LC / 函南LC / 韮山LC / 伊東LC / 河津LC / 中伊豆LC

●クラブ会報・ホームページコンテスト (3クラブ)

会報の部：浜松LC / 沼津LC
ホームページの部：静岡LC

※以上、14賞・110クラブ

DIST. GOVERNORS AWARD

地区ガバナー大賞紹介



コロナ禍の今だからこそ出来ることを

1R・2Z 磐田LC

このたびは栄誉ある地区ガバナー大賞を頂き、会員一同心より感謝申し上げます。

昨年4月にCN63周年記念事業として、バリアフリー映画上映会を行いました。コロナウイルスの感染拡大により、活動の延期や中止が多くなりました。日常生活でも外出が制限され、人と人との触れ合いも減っている時だからこそ、同じ空間で同じ映画を鑑賞し、「みんなで一緒に楽しむ」ことを目的に企画した事業でした。

バリアフリー映画は、視覚・聴覚障がい者と健常者が一緒に楽しめるよう、字幕や音声ガイドによって編集されたもので、多種多様な作品があります。その巧みな技術を初めて知り、もっと多くの方に知って頂きたいと考えました。支援を必要とする方への理解を深めることで、接し方も寄り添ったものになっていくと感じたからです。

感染予防対策だけでなく、要支援者が安心して快適に楽しんでもらえるよう、市内の各種団体にご協力を頂きました。また、事前に研修時間を設けることで、メンバーもサポートのあり方を学び実践する機会となり、今後の事業やアクティビティにつながる大きな財産になったと思います。

またコロナで疲弊しがちな中、明るい話題で磐田市民を元気にしたいと、今年度CN64周年記念事業として「のぼり

旗」を作成しました。全会員から募集した標語を部門別に分け、メンバーの投票により決定しました。

「奉仕の心で 磐田を照らす」「みんなで創ろう 住み良い街 磐田」「自転車も“車” 交通安全 ありがとう」「ワクチンとダブルス組んで 打倒コロナ」「サッカー ラグビー 卓球の街 磐田」の5種類です。

市内15ヵ所の設置場所ごとに担当責任者を決め、定期的に管理しましたので、周囲に迷惑をかけることもなく良い状態を保つことができました。

「5色がカラフルで目立つね」「標語が良いよ」「のぼり旗を見ると元気になる」などお褒めの言葉をたくさん頂いています。市長からも「市民を元気づけようという気持ちがありがたいです」とお言葉を頂戴し、次のチャレンジへ活力を得た思いです。

DIST. GOVERNORS AWARD

地区ガバナー特別賞紹介



青少年健全育成事業を通して

1R・2Z 袋井LC

本年度、袋井ライオンズクラブは「もったいないの心で繋ぐ『We Serve』」をスローガンに掲げスタートを致しました。

7月の例会は開催することができましたが、8月からは新型コロナウイルスの影響で例会開催が難しい状況となりました。そのような中でも例会やアクティビティの目的が達成できるように心掛けて参りました。

今回の受賞は児童養護施設「まきばの家」への支援、卓球大会、少年野球大会、幼稚園への図書の寄贈、小中学生への朝の声掛け運動等、青少年健全育成事業への継続的な活動を評価していただいたものと思い、大変嬉しく感じております。

特に「まきばの家」への支援事業は、本来子供達との交流に重点を置き行ってきましたが、ここ2年間は新型コロナウイルス感染症によって支援という形になってしまいました。

「まきばの家」との交流の歴史は、2008年長野県伊那LC、岐阜県恵那LCそして袋井LCとの合同例会にさかのぼります。アトラクションで伊那の養護施設の子供達が歌を披露してくれました。伊那LCでは親などから虐待を受けて施設で保護されている子供達を応援、支援をしているとの話を聞きました。出席した袋井LCの会員は「それこそがLCとして奉仕することだ」と感銘を受け、袋井市に同様の施設

があるか調査して、「まきばの家」があることを知りました。早速、施設に出向き「何かできる事はないでしょうか」と伝え、施設との話し合いから「サッカー大会に出場するための用品が足りない」との情報を知り、2009年2月例会で寄贈したのが「まきばの家」との交流の始まりです。

以後、子供達との交流会と発展して、現在に至っています。多くの先輩方のご尽力をいただき、繋げて来ていただいた事への感謝の気持ちです。

「ありがとうございました。そして、これからもよろしくお願い致します。」



DIST. GOVERNORS AWARD

地区ガバナー特別賞紹介



御城印贈呈式



温故知新で “We Serve”

2R・3Z 藤枝LC

藤枝ライオンズクラブは2021年クラブ創立60周年を迎えました。スローガンに「60周年！温故知新で新たな奉仕」を掲げ、田中城関連事業に周年記念事業として取り組みました。徳川家康公が鷹狩りに幾度となく訪れ、こよなく愛したと言われる藤枝市の田中城が明治初期に取り壊され、今は往時の史跡もほとんどなくなり、このままでは、田中城も田中藩も地域の歴史も忘れられてゆく状況にありました。その為、田中城があった事を多くの人、特に次世代である地域の子供達に語り継ぎたいということで地元の学校とコラボする事にし、また日本遺産の構成遺産になっている田中城の観光資源としての有効活用を目的としました。主な事業としては①田中城御城印作成・贈呈式・・・田中城下屋敷保勝会に西益津中学校区（西益津小学校、西益津中学校、藤岡小学校）の子供たちと共に贈呈しました。②田中城下屋敷の清掃・・・目の届かない場所の清掃・草刈をメンバーで行いました。③田中城下屋敷石碑除幕式及び記念植樹式・・・田中城にはその場所の名前がわかる物がありませんでした。市役所、保勝会の要望も踏まえ、「史跡田中城下屋敷」と彫刻した石碑を寄贈しました。当日は藤枝市長、西益津中学校区の子供達と共に除幕・植樹を行いました。④田中城ウォーキング・・・西益津中学校区の子供達がボランティアガイドとなって参加

者に田中城を知ってもらうウォーキングを企画・実施しました。参加者は100名でした。④小和田先生による田中城講演会・・・子供達に郷土の田中城を知ってもらう機会を作る為に小和田先生の講演会を企画・実施しました。当日はオンライン参加を含め約700名の方に聴いていただきました。

コロナ感染禍という厳しい環境での事業展開となりましたが、多くの関係者のご協力を得て素晴らしい記念事業となりました。田中藩・田中城が藤枝市の子供達や市民の誇りとして力強く根付いて行ってくれることを切に希望するものです。



田中城ウォーキング

DIST. GOVERNORS AWARD

地区ガバナー特別賞紹介

未来を担う子供たちの
健全な育成に We Serve!

3R・2Z 富士吉原ライオンズクラブ

CN60周年を迎えるにあたり、地域のより良い発展は、そこに育つ子供たちの健全な育成が基本と考え「子供の育成」をテーマに活動しました。

■GIGAスクール対応Wi-Fiルーターの寄贈

本年度は、日本の学校教育のデジタル化のスタートの年になります。すべての子供たちに良質なデジタル教育を安全に提供し、これからの時代に必要な資質・能力の育成、健全な成長につなげてもらおうと、学校教育のデジタル化（GIGAスクール構想）の支援を行いました。富士市内小中学校43校へGIGAスクール対応のモバイルWi-Fiルーター（合計300台）を寄贈しました。コロナ禍で、臨時休校や学級・学年閉鎖などにおいても学校と家庭をつなぎ、すべての子供たちが学習に励むことができるようになりました。タブレット端末の利用の幅も広がり様々な学習の展開も進められています。

■「親子で作るスマホルール」冊子の寄贈

子供たちの自覚を持ったスマホ・SNSの安全な利用を願い、富士市内の中学生向け教材「親子で作るスマホルール」（富士警察署と同署から委嘱されたサイバー犯罪ボランティア作

成）6,700部を富士市防犯協会へ寄贈しました。

■子ども食堂へお米の支援

子ども食堂は、食事の提供に加えて、地域のコミュニティの場として大切な活動をされております。子ども食堂の安定した運営の助けになればと、富士市社会福祉協議会にお米券（30万円分）を寄贈しました。

■ハノイの病院へ人工呼吸器およびマスクの支援

CN55周年事業でベトナムに誕生した奉仕団体FYL V (Fuji Yoshiwara Lions Vietnam Youth) から、コロナ感染症が拡大しているベトナムの厳しい状況が報告されました。そこで、FYL Vと共同で行う記念事業を中止し、ベトナムの皆さんのコロナ対策として、ハノイのタイン・ニャン病院等に人工呼吸器と医療用マスクを寄贈しました。

今後も、結成60年の功績と良き伝統を真摯に受け止め、さらなる発展と地域社会から愛されるクラブを目指して邁進してまいります。

地区ガバナー特別賞紹介



熱海市長へ各種支援の目録をガバナーと共に贈呈



必要とされる災害支援活動を

4R・1Z 熱海LC

昨年7月3日、熱海市伊豆山地区において大規模土石流が発生。関連死含め27人が亡くなり、今もなお1人が行方不明です。この災害にあたり、当初より熱海市当局、消防本部、教育委員会、社会福祉協議会、教育関係支援団体等と連携し、その都度何が必要とされているのかを聞き取りながらクラブの総力をもって支援活動を行ってきており、現在もその活動は続いています。

この災害に対し、334-C地区内をはじめ、全国で募金活動を行うなど様々な地域のLCから支援が寄せられ、総額は2千万円を超えました。

支援の主な内容としては、災害直後に消防本部へ無線機一式やイオンサプライ飲料等を、避難所には各種飲料水と癒やしのためのアレンジメント花を緊急的に届けました。その後、被災された皆さんの要望を聞きながら、仮設住宅用としてコロナ対策のための空気清浄機や電気カーペットを配付。

併行して、被災家庭の子どもたちの居場所づくりや保育、中高生への学習支援等を行っている教育関係団体へ運営費を支援。そして、規制区域内にある障害者就労支援施設への補助。さらに、被災地域へお米の配付を行いました。

このように物資の緊急支援、被災者の生活再建に関する支援、青少年の健全育成に関する教育環境整備への支援、障害

者福祉に関する支援、被災地域を中心とする食糧支援を行い、引き続き、ボランティア施設及び、被災した皆さんが集う集会所等への支援を行う予定です。

334-C地区はじめ全国からご支援いただいた皆さま、ありがとうございました。皆さまのまごころは、支援のための様々な形で役立たせていただいています。

誌面をお借りしまして改めて御礼の言葉を申し上げます。本当に支援のご協力ありがとうございました。



被災した子ども達へお菓子を袋詰めして配付

INFORMATION

事務局だより

2021～2022年度 第4回キャビネット会議報告について

2021～2022年度最終となる第4回キャビネット会議が3月22日（火）静岡市において開催されました。新型コロナ禍の中、感染予防には十分な対策をとって例年通りの開催となりました。主な事項は次の通りです。

報告事項；

第68回地区年次大会年次表彰クラブについて

協議事項；

1. 次期地区役員・クラブ会長・幹事セミナー実施について
2. 第68回地区年次大会議案について
3. 第68回地区年次大会スケジュール他について

※なお、5月11日開催予定の「ウクライナ支援コンサート」についても報告がありました。

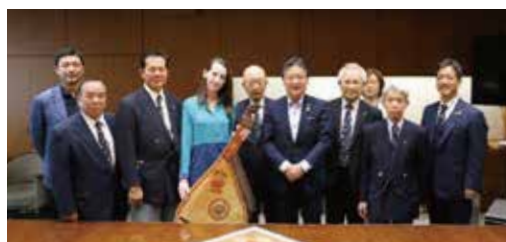
詳細は、第4回ガバナー諮問委員会用に配布した「重点項目」と、地区ホームページ（会員専用）にてご確認ください。

次期地区役員・クラブ会長・幹事セミナーについて

5月26日（木）静岡市・グランシップにて参加者194名の参加により開催されました。全体会において、加藤史典334複合地区GLTコーディネーターより、次年度から本格的にスタートするGMA（グローバル・メンバーシップ・アプローチ）について詳細な説明を頂きました。次年度地区役員、クラブ役員各位のご活躍を期待申し上げます。

ウクライナ支援「ナターシャ・グジー チャリティコンサート」開催

去る5月11日（水）、静岡市AOIにて600名余の参加者を得て成功裡に開催されました。この収益金300万円余は、藤井嗣也地区ガバナーより「ウクライナ避難民支援金」として寄付されました。当日の様子はNHKニュースをはじめとして各種報道機関により県内全域に広く報道されて、大きな反響を呼びました。



2022年2月～5月 物故ライオン

逝去日	物故ライオン名	所属クラブ
2月21日	L立 道 幸 男	御 殿 場LC
3月20日	L小笠原 昭 次	清 水 羽 衣LC
4月 3日	L梅 田 兼 男	西 伊 豆LC
4月27日	L加 藤 克 巳	磐 田LC

◆表紙と裏表紙について

今年のテーマは『水』

全国平均を上回る降水量、大小多くの河川、さらには豊富な地下水と私たち静岡県は全国でもトップク



ラスの『水資源』を有する恵まれた地域です。生命を育み、暮らしを豊かに、生活に潤いを与えてくれる『水』。この水環境を後世まで守り伝えていきたいとの願いから今年度はこの『水』をテーマに写真を選定しました。

編集後記

一年間地区誌をご愛読いただきありがとうございました。新型コロナがまだまだ収束に至らず、加えてロシアのウクライナ侵攻と暗澹たる世相の中、大変な一年間でした。が、しかし、こうした中でも皆様から日々寄せられるMCレポートを通じて、創意工夫や活発なアクティビティを見るにつけ本当に励まされた事、MC委員会一同厚く、感謝申し上げます。

本年は『SNS推進賞』の創設、MCレポート採点の明瞭化に努めてきましたが、未だ種時きが終わった位かなというのが実情です。アナログからデジタルへ大きな変革が叫ばれている昨今ですが、コミュニケーションの基本は「人と人の対話」に他なりません。大切なのは失敗を恐れず、有益だと思うモノやコトを積極的に取り入れる姿勢こそ肝要ではないでしょうか――。

結びに、委員会の皆さん、地区事務局の皆さんはじめ多くの方々のご協力、ご指導のもと1年間楽しく過ごさせていただきました。誌面をお借りしてこころより御礼申し上げます。ありがとうございました。

MC委員長 浅場雅樹

ライオンズクラブ国際協会334-C地区主催
ウクライナ支援チャリティーコンサート

『ナターシャ・グジー』

2022 **5/11** WED

静岡音楽館AOi 8階ホール



収益金は、「ウクライナ避難民支援金口座」に送金しました。